

なり た せ き な い

# 成田碩内

(1864~1930) 漢詩人 書家

元治元年 肥後領鶴崎(大分市)生まれ

明治2年三重村大字市場の成田家に入る。大分・大野郡の教員を勤めるかたわら漢詩を学び、43歳で漢詩の大成を志し上京。その後京城(朝鮮)に渡り、亡くなるまでの20年程を過ごす。漢詩の他、書道も得意とし、多くの筆跡を残した。魯石と号する。

参考:『大分県歴史人物事典』『三重町誌 沿革編』